

## 「高度経済成長期教育史」研究部会（第9回）

日時：2022年12月16日（金）13:00～15:00

場所：野間教育研究所

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

山口和人所長・吉久知延・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：金沢千秋

内容：（1）大島宏研究員「文部省の高等学校生徒急増対策（1）」

1. 佐藤三樹太郎「高等学校生徒急増対策の問題（下）（『文部時報』998 1960年10月）
2. 文部省「高等学校生徒の急増対策について（『教育委員会月報』第123号 1960年11月）
3. 文部省初等中等教育局「高校生急増対策と「高校全入運動」の可否」（1962年4月）  
それぞれの入学者数・進学率の推計表、収容計画（学級定員の増加・学級の増設・学校の新設など）を比較  
60年代前半の想定は結局大きく外れた→その要因を追いたい

（2）米田俊彦研究員「『時事通信・内外教育版』の記事（1963～64年度）」

1963年4月～1964年9月の主な動向（表作成）

幼稚園、標準法、文教施設整備、道徳教育、教科書無償制、補助教材、へき地対策、高校生急増対策、学校給食、学力テスト、能研テスト、教職員団体、ILO条約批准、青少年対策、法案・予算案、教員養成改革、教員超勤手当問題 など  
→今後も70年代まで2～3年ずつ動向を表にまとめていく予定

・次回研究会 2023年1月27日（金）13:00～

・次々回研究会 3月9日（木）13:00～